

2023年度 第1回 町田市立博物館運営委員会 議事録（要旨）

- 1 開催日時：2023年8月18日（金）午後2時～4時
- 2 会場：町田市庁舎10階10-5会議室（リモート併催）
- 3 配布資料：

資料1-1 2022・2023年度に開催した事業
資料1-2 2022・2023年度に開催した事業（写真）
資料2-1 2023年度中に開催予定の事業
資料2-2 2023年度中に開催予定の事業（写真）
資料3 2024年度の事業予定

4 出席者：【委員】

井上 暁子	委員長	玉蟲 敏子	副委員長	原田 一敏	委員
今井 敦	委員	椿 敏幸	委員	宮原 裕美	委員
若月 雅裕	委員	伊藤 嘉章	博物館館長		

5 委員長・副委員長の選出

互選の結果、井上暁子氏が委員長に決定した。その後、井上委員長の指名により玉蟲敏子氏が副委員長（委員長職務代理者）に決定した。

6 議題（報告・審議）

- (1) 報告-1 2022・2023年度に開催した事業<資料1-1、1-2>
- 事務局 展示2件、体験講座7件、大学連携1件、ブース出展2件、作品貸出4件を実施した。
- 委員 大学連携の案内はがきデザインコンペは、どのように広報を行っているのか。特にSNSでの情報発信はしているのか。現在応募者は何名いるのか。
- 事務局 博物館ホームページおよび博物館公式X (Twitter) に情報を掲載した。町田市内にある大学・専門学校の広報担当の方には、学生への積極的な周知を依頼している。応募者は現在1名だが、締切日まで期間があるので、応募人数は終了後報告したい。
- 委員 追加で博物館公式X (Twitter) に掲載するのはいかがか。
- 事務局 実施する。
- 委員 ガラスフュージング体験講座について、講座の内容および完成作品の受け渡しはどのようにしているか。
- 事務局 講座では、板ガラスの上にガラスのパーツを糊で貼り付ける工程まで行う。その後、講師が持ち帰って焼成、徐冷、完成作品の発送を行う。
- 委員 講師の炉で焼成しているとのことだが、(仮称) 公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟ができれば、そちらの設備を使用できるのか。

事務局 (仮称) アート体験棟には電気炉を設置する予定であるので、フュージングの焼成も行えるように計画を進めている。

(2) 報告-2 2023年度中に開催予定の事業<資料2-1、2-2>

事務局 展示3件、体験講座7件、大学連携1件、ブース出展1件、作品貸出1件を実施する予定である。

質疑なし

(3) 審議 2024年度の事業予定<資料3>

事務局 展示3件、体験講座10件、大学連携1件、ブース出展2件を実施する予定である。

委員 パネル展「(仮称) 茶の湯×茶道具展」は、博物館内に移動茶室を設置して撮影するとあるが、(仮称) 町田市立国際工芸美術館の建設場所となる芹ヶ谷公園内で行うことは可能なのか。

事務局 今回使用する移動茶室は本格的なものであり、芹ヶ谷公園で使うことは難しい。ただ、屋外で使用できる移動茶室もあるので、別の機会に公園で野点をすることは可能である。

委員 「(仮称) 茶の湯×茶道具展」で館内撮影の写真を掲載した小冊子を作成するのであれば、博物館の思い出を残せるような冊子になるとよいのでは。

事務局 今年度開催予定のパネル展「いけばな×花器展」の写真撮影は、館内の複数ヶ所で行う予定であり、小冊子もご意見に沿えるような内容となる予定である。

委員 「(仮称) 茶の湯×茶道具展」の写真は、雑誌にあるような単なるイメージカットではなく、茶の湯の理解に繋がるような工夫をしていただきたい。

事務局 町田茶道会との協力の上、実際に使う人の目線で写真を撮影する計画である。

委員 体験講座は制作だけではなく、工芸の使う楽しみが伝わるような講座もあるとよいのでは。

事務局 今後、検討する。

委員 小学校では作品は作って展示したら終わりになってしまうが、「(仮称) 動物形の花瓶を作ろう」で制作する花瓶だと、自宅で長く使えてよい。学校でも参考にしたい。

委員 限られた人数が参加する講座だけではなく、二次利用、三次利用ができると、多くの市民に楽しんでいただけるコンテンツとなる。小学校などでも、体験講座のプログラムを使っただけだとよいのでは。

事務局 今後の参考にする。

委員 (仮称) 国際工芸美術館の最新情報を加えた、新たな工芸美術 PR パンフレットを作る予定はあるか。

事務局 毎年作成しているパネル展の小冊子などに、(仮称) 国際工芸美術館の進捗状況について掲載している。

委員長 審議内容を承認する。

(4) その他

事務局 (仮称)アート体験棟の建設にあたり、町田市周辺にある民間工房について調査を実施した。その結果、町田市内には、陶芸工房7件、ガラス工房7件があることが判明した。その内いくつかの工房を訪ね、今後の協力などを依頼した。今回訪問した工房は、いずれも将来的な協力を好意的であった。

事務局 2023年5月と6月に予定していた(仮称)国際工芸美術館の工事の入札が2回中止となったため、工期および開館時期が遅れることになった。(仮称)国際工芸美術館の開館は2026年3月を予定していたが、2026年9月に延期する。また(仮称)アート体験棟のオープンは2025年10月を予定していたが、2026年6月に延期する。

事務局 本日いただいたご意見をもとに、今後の博物館の運営を行っていく。

委員長 これをもって閉会とする。